

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

エネルギーの安定供給と脱炭素化の両立を実現し、企業価値を高め、持続可能な成長を実現する



2 中長期の経営戦略

1. 原子力発電の活用

女川・島根発電所の再稼働、老朽炉の運転期間延長、敷地内リプレイス方針の明確化

3. 火力発電の適切な維持

液化天然ガスへの移行と高効率石炭火力の既存設備の活用

2. 再生可能エネルギー普及

主力電源として位置づけ、導入拡大を継続推進

4. グリーンプロジェクト推進

バイオマス発電所を中心に林業・農業をパッケージ化した事業展開



3 対処すべき課題

① 世界経済の不安定性

- ・物価上昇の継続による消費への影響
- ・米国通商政策・中国不動産市場停滞の影響
- ・ロシア・ウクライナ、中東地政学リスク

② 国内景気下押しリスク

- ・物価上昇の長期化
- ・米国通商政策による輸出・製造業への影響

③ 事業体制強化の必要性

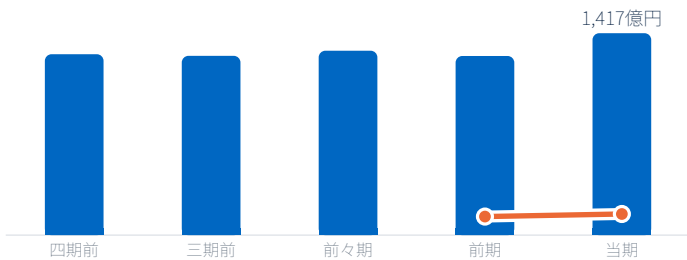
- ・大型火力発電所建設に向けた人材確保
- ・海外拠点の組織体制強化

面接で使えるポイント

- ・第7次エネルギー基本計画の『S+3E』原則に基づき、2040年を見据えた原子力・再生可能・火力のバランス活用に貢献できる…
- ・グリーンプロジェクトで林業・農業とバイオマス発電を統合する新しいビジネスモデルに参画できる点
- ・原子力発電所安全対策工事など社会インフラの脱炭素化に直結する案件に携わる点

証券コード 1968

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,417億円

営業利益率
10.5%

財務健康度
74点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 60.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
788万円

建設業内 75位/140社

平均年齢
43.0歳

建設業内 79位/140社

平均勤続
16.7年

建設業内 54位/140社

女性管理職
1.8%

建設業内 85位/112社

男性育休
40.6%

建設業内 89位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

1947年に設立された建設業を主事業とする上場企業

主力事業・セグメント

- ・ MaintenanceWorkD 68.6%
- ・ 建設WorkDepartment 31.4%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高1,417億円の事業規模
- ・ 営業利益率10.5%の安定した収益性
- ・ 財務健康度74点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

